

報告

三例会

去る3月25日、教庁4階講堂に於いて「三例会」を開催。出席は32教区、121直属。

各地の動き

- 【直属学生層育成者講習会】
- ・松阪 3月22日 大教会 170名
福江副委員長出向
- ・城山 3月22日 大教会 60名
村田委員出向

人事

- 《立教182年3月25日付》
- 【教区学生担当委員長辞令交付】
- ・坂野八十一（福井）
- ・林 英和（岐阜）
- 【直属学生担当委員長辞令交付】
- ・三寶 清（名東）
- ・早坂貞和（仙臺・仙南）
- 【学生担当委員会事務局退職者】
- ・崔 輔岡（敷島・東光）

業務記録

- 《立教182年3月16日～4月15日》
- 3月16日 まなびばチーム会議
- 20日 春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議
- 25日 事務局連絡会
- 例会
- 出版部部会
- 28日 春の学生おぢばがえり
- 4月4日 学修高校卒業生コース研究室会議
ビデオチーム会議
担当者活動部部会
- 出版部部会
- 5日 委員会
まなびば研究室会議
- 6日 学修高校の部研究室会議
学修大学の部研究室会議
学生連絡会

- 《立教182年4月1日付》
- 【学生担当委員会事務局新局員】
- ・平田一寛（池田・櫻井谷）
- ・井筒さちえ（教会本部）
- ・太田里緒（撫養・阿徳）

- 8日 春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議
- 12日 人材育成部部会
- 13日 まなびばチーム会議

web Happist
明日につながる学生WEBSITE
https://happist.net

学生担当者報 5 Vol.387

発行／天理教学生担当委員会 発行責任者／松村孝吉 編集責任者／福江弘一
 [TEL]0743-63-1511 (内線 5817) (直通)0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780
 [E-Mail] tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website] http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教182年
平成31年4月25日発行



立教百八十二年 春の学生おぢばがえり

harugaku 182. 3. 28

三月二十八日、「立教百八十二年 春の学生おぢばがえり」式典を、道の学生四千六百八名（四月十六日現在）の参加者のご守護をいただき開催しました。

式典当日を迎えるまで、教区・直属の担当者の先生方には、それぞれの立場で学生たちのお世話取りに心を尽くしお務めいただき、誠にありがとうございました。

今年の式典では、直前まで小雨が降ったり止んだり天候で開催場所の判断に迷う中、改めて、真柱様のお言葉を頂戴できること、中庭でつとめられることが当たり前ではないと気付かせていただきました。

その中でも、真柱様は教祖殿の濡れ縁にお出ましになり、学生の様子をご覧くださり、また、表統領先生より学生に対してお話を頂けるようにご配慮くださるなど、計り知れないほどの親心をもってお見守りくださいました。このことを思う時、次代を担う学生の育成の任に当たる私たちお互いは、今一度、「自らが育つ努力」の姿を通して、若者を育てるのだという道の順序を忘れずに、真柱様に少しでもご安心いただけるよう務めたいと思います。

今年も多くの子が、おぢばで感動と喜びを感じてくれたと思います。道に繋がった若者の十年先、二十年先の成人を楽しみに新年度も一歩一歩励んでいきましょう。

春の学生おぢばがえり式典における 表統領先生お話し

本日は朝から、ちょっとお天気の心配もいたしましたけれども、皆さんの熱意でこのように素晴らしく雨も預けていただきました。盛大にこの春の学生おぢばがえり式典が開催されますこと、心よりお慶びを申し上げます。そして皆さん、ようこそおぢばへお帰りくださいました。今日は真柱様のご出席がございませんので、立場の上から私から皆さんに、この道を歩む先輩としてお伝えしたいことを話したいと思います。

今日、配られているリーフレットを開きますと、春の学生おぢばがえりのスローガンとして「次代を担うようぼくへ」と記されています。会場の左手前方にも

大きく掲げられています。この言葉には私は二つの

思いが込められていると思います。一つは、今日ここにいる皆さん自身が、次代を担うという自覚を持つよう、ぼくに育とうという意味だと思っています。そしてもう一つは、若い学生の皆さん方に、次代を担うよう、ぼくに育ってほしいと願う学生担当委員会をはじめとする私たち年配者の思いも、ここには込めることができます。と思います。そのどちらにも共通することが、親神様、教祖のご用にしっかりと役立つことができる、そんなよう、ぼくに育つ努力をするということでもあります。その親神様、教祖のご用ということを簡単にお話ししたいと思います。

ご用とは親神様、教祖の思いを理解し、その手足となって働くことであり、親神様、教祖のご理想を実現

するために必要な役割のことです。そのご用を担うのがよう、ぼくという立場です。だから、まずは素直に教えを信じ、親神様、教祖の思いを求め理解することから始めるのが順序であります。

この道の教えは、だめの教えであるということ。皆さんも聞いたことがあると思います。この場合の「だめ」とは、だめ押しという言葉に使う「だめ」であって、最後のとか念を押すといった意味を込めた言葉です。つまり、人間にとって究極的根幹の教えであるという意味であります。そのだめの一点とは、親神様こそが人類を創造なされた真実の神、真実のをやであるということと、その人間創造の意義、目的は陽気ぐらし、世界の実現にあるということです。すなわち私たちは、親神様のご守護とお導きの下で、陽気ぐらしをす

るために生かさせていただいているのであります。

人間にとって親を知るということは大切なことです。人間は誰しも親から生まれてきました。あらためて考えれば、大切なことであるのにほとんどの人は、血液鑑定などせずとも、この人が自分のお父さん、お母さんだと自然に信じて過ごしていることに驚きを感じます。兄弟たちも同じくそれを信じていて、家族というもの形成しています。つまり、人間には理屈抜きに素直に信じる力というものが備わっているのです。加えて、陽気ぐらしをするのが人間存在の意義なのです。ですから、親神様はそのように人間をお創りくださって、すなわち人間は元来、陽気ぐらしをする力を持っているのであります。私たち人間には、この二つの大きな潜在能力、「信じる力」と「陽気ぐらしを

する力」があるということ。是非覚えておいていただきたいと思います。

次に目的である陽氣ぐらしということ、もう少し考えてみたいと思います。世界中の人間が陽氣ぐらしをできれば、陽氣ぐらし世界は実現できるということ。けれども、それは一体いつのことなのでしょう。陽氣ぐらしの教えを世界中に伝えるだけでも長い年限がかかります。そのうえ、それを実践すると言うのですから、それは更に先になるでしょう。人生がいくつあっても足りません。神様のお言葉に

陽氣というのは、皆んな勇ましてくそ、眞の陽氣という。めん／＼楽しんで、後々の者苦しますよ。では、ほんとの陽氣とは言えん (明30 12・11)

つまり、個々の自己満足の陽氣な暮らしは、本当の陽

ば良いわけです。

親神様をご覧になる年限の単位は、一人の人生の年限では計り切れないほど長いものがあります。この世人間の元初まりから、現在、そして将来と途方も無く長い年限をかけて、世界たすけや陽氣ぐらし世界を現しているというのですから、それは私たちの人生を何代もかけなければなりません。そこで、親から子へ、先輩から後輩へとこの道を繋げていくことによつて、それは初めて実現するということになります。

三代真柱様は、陽氣ぐらし実現に向かって、長い長い年限を歩む私たちの姿を、駅伝競走のランナーに例えてお話しくださいました。駅伝、ご存知だと思います。目指すゴールはチームの皆が共有しています。ただ、その道筋は山あり谷ありで、それをたすきを繋い

氣ぐらしではなく、周囲の人たちも一緒にお互い同士が、たすけあい、補い合い、勇ませ合って、笑顔が満ち溢れる暮らしが陽氣ぐらしの基本であります。すなわち、世界中の陽氣ぐらしが大きな目的ですが、実際にはそこに向かう私たちの現実の日々の歩みというものが、もつとも重要なのです。自分一人の陽氣は簡単ですが、他の人も一緒に陽氣というのは実に難しいことです。けれども、そこに向かう努力こそが私たちのご用ということなのです。ですからまず、家族や友人、知人などの自分の周辺。あるいは、教会やこういった学生会の仲間。また、学校やサークルや部活動などの中に陽氣ぐらしを实践する努力を重ねることが、私たち、そして皆さんの目指す陽氣ぐらしの实践であります。そのそれぞれの輪が、だんだん広がってい

でゴールへ向かう競技です。登りを担当する者、下りを担当する者、町の中を担当する者。距離もそれぞれ違います。その担当する区間は、選手の持つ徳分に依りて任命されます。自分が任された区間は、そこは自分は全力を注ぐわけですが、飛ばしすぎて途中でリタイアすれば、全員のリタイアになってしまいますから、まず、自分のペースを知り、それを守り、無理しすぎずに確実にたすきを繋げられるように、トレーニングと練習を繰り返して身につけるのだと思います。私たちが通る道の歩みも同様だとお話しくださいました。私たちがお慕いする教祖のご期待にお応えできるよう、それぞれに与えられた使命を理解し、それぞれの徳分を活かして、目的達成に向けて力いっぱい努力をすればいいのであります。

例えば私には親神様から「お前はこの時代、この役割」と、お任せくださった役割があります。それを全うする責任があります。皆さん一人ひとりも親神様から「この時代、この役割」と、任されるご期待が必ずありますから、それを自覚して自分の人生の中で、いかに実現していくかを考え、そして実践するのであります。親神様は実のをやでありますから、子どもを一番良くお分かりです。それぞれが一番相応しい時代に誕生させて、もっとも徳分に適したステージをお与えくださっています。後は私たちが親神様、教祖と向き合って、それに気づき、素直に実践を続ければ、親神様がお守りくださって人生の幸せ、充実へとお導きくださるのであります。

さて、来年は東京オリンピックが開催されます。最

近のトップアスリートは試合に臨む時に「試合を楽しみたいと思います」と、よくこのように話します。言うまでもなく、この楽しむという言葉には、真剣さも緊張感も必死の覚悟も含まれているわけです。更にそれまでの血の滲むような苦労と努力を積み重ねてきたという裏づけがあるからこそ口にできる言葉であり、それも含めて本番を楽しもうと、そんな姿勢でこそ、大舞台において緊張を超えた力を発揮する、持てる力を全て出し切るということに繋がるのだと思います。

私たちもお道は明るく、楽しんで、勇んで通らせていただきたいと思うのです。けれども、私たちがよく、よくとして通る道は、陽気ぐらし実現へのたすけ、一条の道であります。実際に身上や事情で苦しむ人をたすけようという道ですから、厳しい場面も多々あります。

大きなご守護を頂戴しようと思うなら、楽々だけでは通りきることはできません。しんどい道、苦労の道もあることを承知して乗り越えねばなりません。そこを通ってこそその信仰のありがたさであり、おたすけの喜びを感じられ、そして、道を歩む真の楽しみを得られるのであります。何よりもありがたいことは、そのお手本として教祖が先頭に立って歩んでくださったひなが、たの道があり、私たちはそのひなが、たを頼りに歩むことができるということであります。

今日、このおぢばに集まった皆さん方が、このスロ―ガンを中心に置いて、これから立派なよう、よくへの成人の歩みを、一歩一歩だんだんと進めてくださることを、大いに期待を申し上げまして、私からの話を終えさせていただきますと思います。

(文責 松村孝吉)



次代を担うようばくへ

立教百八十二年 春の学生おぢばがえり 実行委員長挨拶 丸川陽一郎



本日は、奥様、大亮様、布恵様のご臨席を賜り、来賓の先生方をお招きして、ここに「立教百八十二年春の学生おぢばがえり」の式典を、みなさんと共に無事に開催できたこと、心から感謝申し上げます。みなさん、ようこそおぢばにおかえりくださいました。

私たち道の学生は、「次代を担うようばくへ」をスローガンに掲げ、道の学生成人目標を胸に、今日まで一步一步、成人の道を歩んできました。

その道中、生かされていることを当たり前前に思ってしまう自分の未熟さを感じ、お道の素晴らしさを伝える上で、思いを伝えることの難しさに悩み、人を繋げる尊さを学びました。また、進んで教会につながる

ことで、教えの素晴らしさとお道の人の温かさに気づきました。どんな出来事の中にも、私たち子供を成人させてやりたいという、親神様、教祖の温かい親心があることに気づかせてもらい、今日この日を無事に迎えられることに感謝の気持ちでいっぱいです。そして、私たちお互いにとって、一緒に歩んできた全国の仲間の存在は大きな心の支えとなり、力となりました。私自身、みなさんのお陰で「ありがとう」のあふれる毎日をご過ごさせていただきました。本当にありがとうございます。

Web(Happist)予告!!

連載

- ・教理コーナー
 - 15歳からの教理 諸井 道隆 (本部准員 / 山名大教会長)
 - お道の素晴らしさ 紺谷 清春 (本部准員 / 飾東大教会長)
- ・信仰エッセー
 - 明日の地図ひろげて 松田 理治 (本部准員)
 - 平川 寛行 (本駿河台分教会長)

読者投稿コーナー
らんだむくらぶ&学生会情報
随時更新!!

web 明日につながる学生WEBSITE

Happist

親しみやすさはそのままに、(Happist)は生まれ変わりました。これまでよりも身近に、手軽に楽しめる新生(Happist)をお見逃しなく!

詳しくはWebで。
さあ、君もHappistで検索

Happist.net 検索

<https://happist.net>

※内容は一部変更になる場合があります。

明るいういで、陽気ぐらしに向かって

立教百八十二年 春の学生おぢばがえり 決意表明 板倉克真



本日は、「立教百八十二年春の学生おぢばがえり」の式典を無事に開催することができました。誠にありがとうございます。私たち道の学生は、ただいま頂戴した表統領先生のお話をしっかりと心に治め、毎日の生活を送らせていただきます。

私たちはまだまだ未熟です。そのためこれから壁にぶつかり、倒れそうになることもあると思います。しかし、そんな時、親神様は何を教えてくださいださっているのか、教祖ならどうなされるのかを考え、仲間と一手一つに楽しんで通ります。そして、お道につながる学生だけでなく、天理教を知らない人たちにも、お道の教えを伝え、一日でも早く教えを通して笑顔になってもらえ

るように、ここから笑顔の種をまいていきます。今日、道につながる全国の学生が集まりました。この仲間たちと一緒に、若い力でお道を盛り上げていきます。そして、毎日を明るいういで通り、陽気ぐらしに向かって歩んでいくことを決意します。



Happist Photo Gallery

内容：学生生徒修養会・大学の部・高校卒業生コース 春の学生おぢばがえり

頒布期間：平成31年4月25日～令和元年7月24日

購入方法：パソコンやスマートフォンで下記のURLにアクセスし、イベントIDとパスワード(各行事で異なります)を入力して閲覧・購入してください。イベントIDとパスワードの内容については、参加者への配付資料「Happist Photo Gallery」をご覧ください。また、学生担当委員会事務局(☎0743-63-2489)までお問い合わせください。なお、インターネットでの購入が困難な方は、学生担当委員会事務局の窓口にて対応いたします。

頒布価格：L版40円 2L版100円 ※別途送料が必要です。

URL：<http://11kao.jp/>

※Web(Happist)からもアクセスできます。

学修大学の部
学修高校卒業生
春の学生おぢばがえり

立教182年 学生生徒修養会 高校の部

親里がばは人類のふるさと。ここでの合宿生活を通して、全国から帰り集う多くの友と語り合いたすけ合う。陽気ぐらしの教えを学び、いろいろな行事の中で自らの心を見つめ、人をたすける心を育てる場所。きっとあなたの人生にとって、大きな意味を持つ1週間になるにちがいない。

募集要項

- ▽期 間 2019年 8月9日(金)～8月15日(木)
- ▽受講対象 高等学校に在学し、全期間受講できる者。
(親里管内については天理高校第I部の自宅通学生に限り受講可能です)
- ▽募集人員 1,400名 (男子 700名、女子 700名)
- ▽内 容 ☆レクチャー ☆ひのきしん ☆おてふり・鳴物練習
☆レクリエーション ☆グループワーク ☆感話大会 ☆みんなのつどい など
※期間中に別席を1席運べる日を設けます。
- ▽集 合 8月9日 午前9時30分～10時
詰所にて受付票を受け取り、受付票に記載されている宿舎に集合してください。
- ▽解 散 8月15日 午前10時30分 (予定)
- ▽受講御供 10,000円 詰所(直属学生担当委員会)に納めてください。

申し込み

- ▽申込方法 以下の書類をととのえ、最上級教会長の署名・捺印をいただいた後、学生担当委員会事務局に申し込んでください。
・受講願書1通
・返信用封筒1枚 (保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、82円切手を貼付してください)
- ▽申込期間 2019年 5月25日～7月25日
(※事務処理の関係上、願書はなるべく7月18日までに提出してください)
- ※受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて7月10日以降、随時保護者宛てに郵送いたします。
また、7月10日以降はTSA websiteでも詳細、必要事項が確認できますのでご利用ください。
- ※受講願書は学生担当委員会事務局、直属学生担当委員会、各教務支庁にあります。
- ※本人の意思を確認の上、お申し込みください。
- ※期間中の映像や写真は、印刷物及びインターネットを通じた広報に使用することがありますのでご了承ください。

お知らせ

直属担当者懇談会

- ・期日 立教182年5月25日
- ・時間 12時30分受付 13時開始
- ・場所 第38母屋

五月份例会

- ・期日 立教182年5月25日
- ・時間 15時30分受付 16時開始
- ・場所 第38母屋9階大広間

学生層育成者講習会

日程・会場案内

- | | | |
|------|--------------|------|
| ・埼玉 | 5月3日 10時 | 教務支庁 |
| ・北海道 | 5月12日 13時 | 教務支庁 |
| 【直属】 | | |
| ・高松 | 5月6日 11時45分 | 大教会 |
| ・肥長 | 5月18日 12時 | 大教会 |
| ・網干 | 5月18日 12時40分 | 大教会 |
| ・周東 | 5月21日 12時 | 大教会 |
| ・西海 | 5月21日 16時30分 | 大教会 |
| ・東肥 | 5月21日 10時 | 大教会 |
| ・紀陽 | 5月21日 12時30分 | 大教会 |

- | | | |
|------|--------------|-----|
| ・本島 | 5月22日 11時30分 | 大教会 |
| ・朝倉 | 5月22日 11時30分 | 大教会 |
| ・中津 | 5月22日 12時30分 | 大教会 |
| ・立野堀 | 5月22日 11時30分 | 大教会 |
| ・南紀 | 5月22日 11時30分 | 大教会 |
| ・洲本 | 5月22日 13時 | 大教会 |
| ・小南浦 | 5月22日 11時30分 | 大教会 |
| ・芦津 | 5月23日 12時15分 | 大教会 |
| ・中河 | 5月23日 12時 | 大教会 |
| ・城法 | 5月23日 12時15分 | 大教会 |
| ・生野 | 5月23日 12時 | 大教会 |
| ・西宮 | 5月23日 12時 | 大教会 |
| ・佐野原 | 5月23日 12時 | 大教会 |
| ・南阿 | 5月23日 12時 | 大教会 |
| ・中野 | 5月23日 12時30分 | 大教会 |
| ・那美岐 | 5月23日 9時 | 大教会 |
| ・防府 | 5月23日 12時 | 大教会 |
| ・五條 | 5月23日 11時45分 | 大教会 |
| ・旭日 | 5月24日 11時 | 大教会 |
| ・東神田 | 5月24日 13時 | 大教会 |
| ・生駒 | 5月24日 11時30分 | 大教会 |
| ・中背 | 5月24日 10時 | 大教会 |
| ・宇仁 | 5月24日 12時 | 大教会 |
| ・河原町 | 5月26日 13時30分 | 詰所 |

青空

私が学生担当委員会事務局でご用を始めたのは、二年前の三月でした。

私のお与えいただいた立場では、行事でも実際に学生と接する機会はほとんどありません。裏方の業務をこなすだけの日々を送っていた私の目に、ふと「学修スタッフの一番の旨みは、人を見て学ばせてもらえること」という、あるお話の一文が目にとまりました。

それまで自分が育成者という自覚も持っていないでいましたが、人を導き育てていく上で、自らの成人が何よりも大事であること、そして、行事などを通し、人の信仰姿勢に触れる機会をたくさんいただいている自分分は、素晴らしい「学びの場」をお与えいただいていたのだと気付きました。

起こってくる事柄を教理と照らし合わせ、心の治め方を練習する時期に、学生担当委員会という学びの場で得たものは、何よりも尊い財産になりました。今後、自分も周りも陽気になる生き方を探しながら、共に育つ努力を続けていきたいと思います。

庶務会計部局員 永尾米子